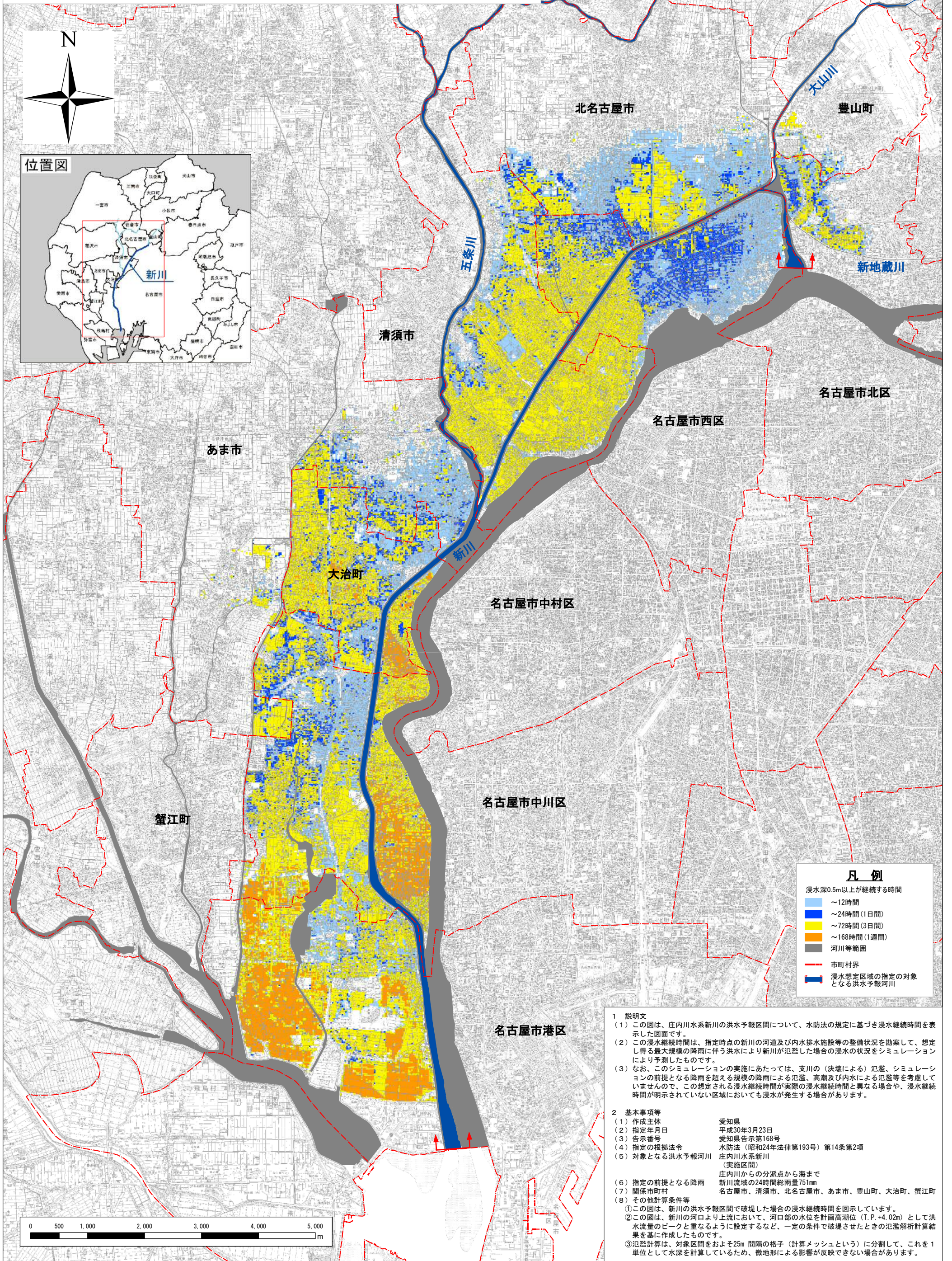


# 庄内川水系 新川 洪水浸水想定区域図 (浸水継続時間)



**凡例**

浸水深0.5m以上が継続する時間

- ~12時間
- ~24時間(1日間)
- ~72時間(3日間)
- ~168時間(1週間)

河川等範囲

市町村界

浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

- 1 説明文**
- (1) この図は、庄内川水系新川の洪水予報区間について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。
  - (2) この浸水継続時間は、指定時点の新川の河道及び内水排水施設等の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により新川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
- 2 基本事項等**
- (1) 作成主体 愛知県
  - (2) 指定年月日 平成30年3月23日
  - (3) 告示番号 愛知県告示第168号
  - (4) 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
  - (5) 対象となる洪水予報河川 庄内川水系新川(実施区間)
  - (6) 指定の前提となる降雨 庄内川からの分派点から海まで新川流域の24時間総雨量751mm
  - (7) 関係市町村 名古屋市、清須市、北名古屋市、あま市、豊山町、大治町、蟹江町
  - (8) その他計算条件等
    - ①この図は、新川の洪水予報区間で破堤した場合の浸水継続時間を図示しています。
    - ②この図は、新川の河口より上流において、河口部の水位を計画高潮位(T.P.+4.02m)として洪水流量のピークと重なるように設定するなど、一定の条件で破堤させたときの氾濫解析計算結果を基に作成したものです。
    - ③氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。

この成果は、中部技術事務所長の承認を得て、同事務所作成の航空レーザー測量成果(オリジナルデータ、オルソフォトデータ、グリッドデータ)を使用したものです。(承認番号:平成28年11月1日付国部整環共第12号)  
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。(承認番号 平29情複、第971号)